

セミナー開催、約130人参加

テーマは女性活躍“DE&I”

技術士会中国本部

日本技術士会中国本部（福田直三本部長）は24日、鳥取市尚徳町のとりぎん文化会館で「第44回地域産学官と技術士との合同セミナー」を開いた。テーマは「みんなで一緒に考えるDE&I（ダイ

バーシティ・エクイティ&インクルージョン）」。

オンラインを含めて約130人が参加し、女性技術者の活躍の場を広げるために必要な取り組みなどを考察した。

開会あいさつに立った福田本部長は「技術士の責務としては、継続研鑽による専門知のアップデートを図ること、多様で幅広い課題に対処するための総合知の視点が重要とされている。その中で、技術士会は専門知と総合知をつなぎ、社会貢献を果たしていくプラットフォーム的役割を担っていると思っている。

今回のセミナーのテーマは、まさに総合知を發揮すべき課題。将来に向けて、どのように取り組んでいくのかを考えていき

たい」と述べ、セミナーの開催意義を強調した。

また、日本技術士会の黒川正美副会長は「本日の講演を参考にさせてもらい、技術士会としても

女性をはじめとした多様な人材が技術者・技術士として活躍し、さらには組織を牽引する指導的立場で能力を發揮できるように、関連組織の皆さんと



セミナーのもよう

連携しながら活動を続けていきたい」などとあいさつした。

セミナーでは、鳥取県産業技術センターの高橋紀子理事長が「DE&Iが、組織を変える！社会を変える！」を演題に特別講演。女性登用を先駆的に行ってきた鳥取県庁の事例をもとに、男社会から組織をどう変えたかを紹介したほか、社会全体でDE&Iを進めていく必要性なども説明した。

その後、一般講演として4人の女性講師が登場した。この中で、エスジーズの赤井伸江氏は「技術士と女性活躍」を題し、実務の現場から見た女性が抱える課題（働きづらさ）などを、自身の経験を踏まえて分かりやすく解説した。

女性を

女性をはじめとした多様な人材が技術者・技術士として活躍し、さらには組織を牽引する指導的立場で能力を發揮できるように、関連組織の皆さんと